
Veritas • Fovia

醤油

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Veritas・Fovia

【コード】

N3938I

【作者名】

醤油

【あらすじ】

今日も学校に遅刻せずにこれ、
いつもと変わらない休み時間を過ごしていたはずが…

Prologue - はじまり - (前書き)

下手ですがよかったら読んで下さい

Prologue - はじまり -

今日も、いつもと変わらないそんな平凡な日が来るはずだった…。

目が覚めて起き上がってみるとここはいつも授業をうけている教室だった。

でも、いつもと違う

いつもは机やイスがいつでも授業をできるようにきちんと並べてあるが今は掃除をするときみたいに後にさげである

それに私の格好もいつもと違う

なんか、ファンタジー小説にできそうなかわいい格好をしているガサツ

ふいにそんな音がした

その音のした方を向いてみるとそこには見知らぬ男の子が倒れていたすこしはねているキレイな黒髪、髪と同じ色の服、私よりも年上なのかすこしおとなっぽい顔立ちをしている…それに背も高い

でも…、

その子の周りにはいすや机がプカプカと浮かんでいる

私はその、信じがたい光景をまのあたりにし、声がだせずにその場にたちすくんだ

P r o l o g u e - はじまり - (後書き)

誤字、脱字、へんなところ等ありましたら言ってお下さい
アドバイスもお願いします

異なる世界で・・・（前書き）

とうとう異世界にいきます。

できれば読んでください

感想もお願いします。

異なる世界で・・・

・・・一時間目と二時間目の間の休み時間、

次の科目は数学なので教室を移動しないですむので一人で本を読んでいた

ふと、顔をあげてみる

教室のドアをはさむようにして話している四人が見えた

その四人はすごく楽しそうに話していて、たまに冗談を言ったり、ふざけあったりしている

その時、

「・・・・・・・・・・・・・・・・。」

だれかがこう叫んだ

その瞬間、さっきまで笑顔だった4人の顔がけわしくなった

私はその4人に声をかけようとしたとき

窓の外がひかり、私の意識はそこで途切れた・・・

そう、わたしはさっきまでちゃんと自分の席に座り本を読んでいたはず……

なのに、なんでこんなところに寝ていたの？

そしてこの男の子は誰？

なんでこの男の子のまわりにはイスや机が浮かんでいるの？

そんな思考がわたしの頭の中をぐるぐるとかけめぐり混乱しているとき

ガタガタガタツ

イスや机などが落ちた音がした

わたしがその音のした方を向いてみると

イスや机が落ちているその中心にさっきまで倒れていた男の子が立っていた

異なる世界で・・・（後書き）

やっと起きました男の子！

その男の子と主人公の名前はたぶん次でできます

その四人とは男2人女2人です。

すいません、書いてなくて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3938i/>

Veritas・Fovia

2010年10月16日22時01分発行